

関谷海成

松伏小六年

犯罪なき社会を築くために

関谷海成

今の世の中ではたくさん人の犯罪や非行が起
こっています。その犯罪や非行をどうやって
なくすか、犯罪をおこしてしまっただ人の立ち
直り方について考えました。

まず、ぼくは最近犯罪がいろいろなところだ
と、毎朝テレビをつけてニュースを見るたび
に数多くの犯罪が報道されているからです。

なぜ犯罪をしてしまうのかとぼくは毎日不思議
に思います。ただその犯罪を起こしてしま
った人には理由がある人もいます。お金に
こまっっている○○さんに○○された

左やみがありそれを晴らすためになどい
んな理由がある人もいます。ただ、どんな理
由があろうと犯罪はしてはいけません。でも
犯罪が起きてしまっている一部はぼくたち国

民の責任かもしれません。ある人を差別した
り、政治に関することだったり、たくさん人の

責任がばくたち国民にはあると思います。犯罪を無くすためには、もちろん犯罪しないようにすることですが、国民の人を差別せず苦しませない、などの努力をばくたち日本国民や世界中の人がし、そして世界の意しきや犯人だけが悪いという考えを減らしていくと、と世界は平和で犯罪が起きない世界になつていくと思います。

ただ、もう犯罪や非行などを起こしてしまつて、今、社会にかましている人達もいます。その人達の立ち直り方について考えた事ですが、例えば国民が犯罪を起こした人からまよりをとる事や犯罪おかした人を注意深く見る。左とそういつたことが起きています。そういつた行動をとつてしまふ人の気持ちも理解できません。また犯罪をするかもしれない犯罪を絶対に許さないなどの理由もあると思います。ただ、それを行動や言葉に出すことも犯罪だと思いません。なぜかという、もうその人達は罪をつぐなつて、社会に

ふっ ましたら全員と同じ一人の日本国民だからです。でも犯罪を許さない、などの気持ち
は行動や言葉に出さなければ心の中で思っ
いてもぼくいいと思います。なぜなら、本当
に犯罪は許されなからです。国民がそうい
った行動を取れば犯罪を起こしてしまっ
た人も社会に立ち直れると考えました。

それでも犯罪は起こしてしまいます。最終
的には国民一人一人の努力だと思います。ぼ
くが大人になるまでにニュースではうれし
い報道がたくさん流れ、犯罪なき社会になるよ
うに、ぼくも、努力していきたいです。